

トピック | 平成28年熊本地震

復興願い、手作りクッション

南陵高生が被災者へ

[f](#) [t](#) [B!](#)

2016/8/28 13:02

南陵高(あさぎり町)生活経営科3年の生徒22人が、益城町の仮設住宅で暮らす被災者に使ってもらおうと和綿のクッションを手作りました。1日も早い復興へ、願いを込めて丁寧に仕上げた。



益城町の仮設住宅で使ってもらおうと和綿のクッションを手作した南陵高の生徒たち=あさぎり町

同科は須恵地区の住民らが進める「和綿の里づくり」に栽培などで協力している。

縦横35センチのピンクやオレンジのクッション中央部に、手織りした和綿を縫い付けた。29日に生徒の代表が益城町を訪ね、榊島仮設団地(41戸)の入居説明会で、手書きのメッセージカードを添えて1世帯に1個ずつ手渡すという。

3年の古賀瑞世さんと中武美咲さんは「和綿は肌が弱い人でも使いやすい。手作りの温かみを感じてほしい」と話した。6月にも南阿蘇地域で活動するボランティア団体に約30個を贈っている。(内海正樹)